

誓いの言葉

本日は二十歳を迎えた私たちの門出に際し、このような素晴らしい式を開催していただき誠にありがとうございます。田村町長をはじめ、ご来賓の方々、開催に尽力くださった関係者の皆様に二十歳を代表して心より感謝を申し上げます。

さて、現在落ち着いてはきましたが、新型コロナウイルス感染症が未だ流行しています。私たちの高校生活は新型コロナウイルスによって自粛生活を強いられてきたことだと思います。例えば、高校一年生の学年末から学校へ登校できず、学校によっては対面することのない不慣れなりモート授業もあったことだと思います。また、新型コロナウイルスによる厳しい外出制限も緩和されて登校することができても、体育祭や文化祭、修学旅行などの学校生活の醍醐味であるイベントが突然なくなってしまい、想うような高校生活を過ごすことができず、楽しい思い出が少なかったと感じる方も多いことだと思います。

突然ですが、皆さんにとって「大切なもの」とは何が思い浮かぶでしょうか。私には家族や友人など身の回りに大切な存在がたくさんあります。また、人によっては人以外にも物や過ごす時間など様々なものがあるのではないのでしょうか。今思いつくもの以外にも数えきれない大切なものがあると思います。それらは、時に当たり前のように存在していることで、大切さを見失うことがあります。夕食を毎日作ってくれる親や一緒に笑い合える友達。今まで何気なく過ごしてきた日常生活が新型コロナウイルスによって制限され、当たり前の存在の大切さに改めて気付かされました。これからも「当たり前」を大切なものであることを忘れずに過ごしていきたいと思います。

最後になりますが、二十歳という大きな節目を迎えた私達ですが、まだまだ未熟のためこれからどうか温かい目でご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、以上で二十歳の誓いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

令和六年一月八日

二十歳大久野地区代表 清水勝登